

しよわ



今月の表紙 2023.3.26

喰丸小に桜咲く

3月26日、交流・観光拠点施設「喰丸小」において少年教室の閉講式とワークショップ「布と絵の具あそび」が開催されました。午前中は、「笑和の会」の皆さんを講師にばんでえもち作りに挑戦しました。午後からは、和洋女子大学の皆さんと一緒に思い思い布に絵を描き、切り抜いて桜の木に見立てたオブジェに貼り付けました。彩り豊かな桜が、一足早く喰丸小に咲きました。

佐藤庄市さん 百歳賀寿



3月26日、佐藤庄市さん（野尻）が、満百歳の誕生日を迎えられました。新型コロナウイルス拡大防止のため贈呈式は行われませんでした。が、入所されている昭和ホームにおいてご家族を招いたお祝いの会が行われ、福島県、昭和村、昭和村老人クラブ連合会、昭和村社会福祉協議会からの賀

寿及び記念品が施設長からご本人に手渡されました。

また、ご家族からは、庄市さんが生まれた日の新聞や遠方のお孫さんからのメッセージも手渡されました。

百歳おめでとうございます。これからも健やかにお過ごしください。

かすみの教習所 6名が修了

3月27日、昭和村役場において、かすみ草新規就農実践講座「かすみの教習所」の閉講式が行われました。

本年度受講した4組6名が無事修了し、村長から修了証が一人一人に手渡されました。

閉講式では、修了生から、自営就農にあたっての決意表明もあり、気持ちを新たにしているようでした。



世界的・元ソムリエが 村長を表敬訪問



イタリア出身でフランスを拠点に活動するソムリエが日本酒「大芦口万」原材料の産地である昭和村を訪れました。

イタリア出身の元ソムリエ、アレッシオ・デルフィーノさんは「ミシユランガイド」に載るレストランなどでヘッドソムリエを務め、現在はフランスを拠点に世界各地を回って、酒の魅力を発信しています。

3月3日に、舟木村長らと懇談し、今後も「日本との交流を深めていきたい」などと話しました。

また、今年発売された生原酒の「大芦口万」をテイステイングし、「バナナクリームのようならやかさと優しさ。とてもおいしい。これまで味わった日本酒の中でトップ3に入る」と絶賛しました。

Topics

新型コロナウイルス感染症の予防対策により式典の一部省略や来賓者数の制限が行われる中、卒業生・修了生に一人一人卒業・修了証書が手渡されました。

中学校では、卒業生の山内嘉衣さん(下中津川)から、中学校生活の思い出を振り返ると共に、先生方や家族、地域の方々への感謝の言葉が贈られ、会場は感動に包まれました。

小学校では、6年間の思い出を振り返る卒業生と在校生の呼びかけが行われるとともに、卒業生か

卒業・修了おめでとう
新たな門出



3月13日に、昭和中学校で、3月23日には昭和小学校で卒業証書授与式、3月25日には、昭和村保育所で修了式が行われました。

新型コロナウイルス感染症の予防対策により式典の一部省略や来賓者数の制限が行われる中、卒業生・修了生に一人一人卒業・修了証書が手渡されました。

卒業生、修了生一人一人が希望を胸に、新たな一歩を踏み出しました。



◁ 昭和中学校 卒業式

卒業生 3名



昭和小学校 卒業式 ▷

卒業生 6名



◁ 昭和村保育所 修了式

修了生 2名



からむし織体験生・ 研修生修了式

3月17日、昭和村役場において、「からむし織体験生・研修生修了式」が行われました。

関係者が見守るなか、舟木村長から、体験生・研修生一人一人に修了証書が授与されました。

体験生・研修生からは、1年間お世話になった講師や村の方々に感謝の言葉が伝えられました。



4年ぶり、老人作品展開催

3月5日、道の駅・織姫交流館において「令和4年度老人作品展」が4年ぶりに開催されました。

村内から、49名264点が出品され、前回よりも25点多い出品点数となりました。

会場には、多くの方が訪れ、きめ細かな手技に



感心しつつ、自身の気に入った作品を買い求めていました。
なお、特別賞を受賞されたのは、次の方々です。おめでとございます。

●特別賞

昭和村長賞

・ブドウかご

渡部 政衛

・クラフト手提げかご

酒井 多賀子

昭和村社会福祉協議会長賞

・帽子

栗城 邦子

日本赤十字社福島県支部長賞

・ホーキ

佐々木 良作

福島県老人クラブ連合会長賞

・からむし手巾

五十嵐 照喜

雪まつり、盛大に

除雪実証を実施

2月26日、道の駅・織姫交流館において「第38回からむし織の里雪まつり」が盛大に開催されました。

新型コロナウイルス対策のため、一部内容を縮小しての実施となりましたが、久しぶりのイベントに、村内外から多くの人々が訪れ、賑わいました。



◀伝統芸能の披露

2月22日、役場裏の村道において、5Gを活用した遠隔操作による除雪実証デモンストラーションを関係者向けに実施しました。

昨年度より、通信環境を増強するとともに、カメラ台数の増、高精度な位置情報を基にした障害物を表示するシステムなど、新規機能の追加により実証に向けてより進んだ実証となりました。



阿部副村長退任 のお知らせ



令和3年4月から、副村長として村政の進展にご尽力いただきました阿部浩陽さんが、3月31日をもって退任され、福島県庁に復帰されます。

在職期間中は、舟木村長の右腕として県で培った経験を活かし、新型コロナウイルス対策への助言など、幅広い分野で多角的な視点から助言をいただきました。

本村の進展にご尽力を賜り誠にありがとうございました。今後益々のご活躍をお祈りいたします。

なお、新たに着任する副村長については、5月号でご紹介いたします。

行政相談委員の退任と 新任のお知らせ

(前任者)

五十嵐 賢仁氏

任期：令和3年4月～

令和5年3月まで

(新任者)

本名 千代氏

住所：下中津川酒屋台

3519番地

電話：57・2770

任期：令和5年4月～

令和7年3月まで

行政相談委員とは？

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事を始め、年金事務所などの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。年間を通して手紙や電話でも相談でき、自宅でも相談に応じます。相談は秘密厳守で無料ですので、お気軽にご利用ください。

体育協会表彰

3月8日、昭和村体育協会表彰規程に基づき、昭和中学校の生徒2名に、優秀選手賞を授与しました。この賞はスポーツ選手として、輝かしい功績を挙げた方を表彰するもので、受賞された生徒は次のとおりです。

●山内嘉衣

福島県中学校体育大会予選会（全会津中学校体育大会）卓球競技ベスト4 県大会出場

●本名詩

福島県中学校体育大会予選会（全会津中学校体育大会）卓球競技ベスト8 県大会出場



東京大学 フィールドワーク報告会

3月8日、昭和村公民館において、東京大学農学部 of 学生らによる、フィールドワーク実習報告会が開催されました。

かすみ草、水稲、からむしなどの、昭和村の産業について、ヒアリングを基に、学生らの見解が述べられ、参加した農家からは、今後の展望について質問されるなど、有意義な時間となりました。



「節分かんじき ウォーク」開催！

1月29日、佐倉観音寺にて昭和村子ども会・少年教室・杉の子会共催「節分かんじきウォーク」が開催されました。

杉の子会会長の馬場政之さんから、節分の由来や昭和村で節分がどのように行われてきたかのお話があり、生紙で作られた豆拾いの袋にそれぞれ鬼の絵などを描きました。

その後、道の駅に移動し、講師の羽染輝男さんに教えてもらいながらかんじきをはいって雪山をみんまで歩きました。



公民館日誌

○古文書教室 2月23日

小林盛雄さん、松尾悠亮さんを講師に迎え、下中津川地区の柴刈りについて書かれた古文書をテキストとして学びました。前回に引き続き、明治大学元文学部教授の吉田優さんとオンラインで繋ぎ、字体の判別や、解釈についての補足を受けつつ、史料を読み進めました。



○千歳学級・老人クラブ「ミナクル（みんな来る）健康塾体験教室②」 3月7日

公民館で千歳学級生と老人クラブ連合会会員を対象とした、ミナクル（みんな来る）健康塾体験教室の2回目を開催しました。講師は、前回に引き続き、赤ベコトータルスポーツマネジャーの中島和一さんをお招きし、椅子に座ったまま出来る軽運動を中心に指導いただきました。手を大きく振る足踏み運動で体をほぐし、後出しじゃんけんの脳トレやカラーディスクを使った転倒防止運動、ポッチャのゲームを行いました。最後は風船バレーで盛り上がり、思いっきり笑いながら、楽しく健康づくりに取り組みました。



主催：公民館千歳学級／共催：保健福祉課、老人クラブ連合会、社会福祉協議会／協力：NPO 法人苧麻クラブ

○矢ノ原湿原等調査報告会 3月11日

福島大学から教育推進機構の狩野剛先生、食農学類の渡邊芳倫先生、共生システム理工学類の黒沢高秀先生の3名に現地で、東京都立大学から博士前期課程2年の渡辺樹さんにオンラインで報告してもらいました。四者四様の発表で、それぞれに質問や意見交換を行い、非常に内容の濃い、充実した報告会となりました。



○千歳学級「令和4年度閉級式」 3月13日

公民館で令和4年度の千歳学級閉級式として、歴史学習会を開催しました。

只見町の河井継之助記念館でガイドをされている目黒信さんを講師にお招きし、河井継之助の生涯とその人物像について詳しくお話いただきました。

学習会終了後は、道の駅からむし織の里へ移動し、からむし織体験生・研修生の作品展とからむし工芸博物館の冬の企画展「村の民具たち～かんじきコレクション～」を見学しました。



小野川	大芦	両原	喰丸	佐倉	小中津川			下中津川	中向	野尻	松山	地区名						
10 〜 3	4 〜 9	/	12 〜 3	8 〜 11	4 〜 7	12 〜 3	8 〜 11	4 〜 7	1 〜 3	10 〜 12	7 〜 9	4 〜 6	/	/	/	月別		
渡部政衛	齋藤一美	五十嵐喜久男	本名智	齋藤正志	齋藤利夫	齋藤正雄	酒井晶雄	羽染輝男	須藤博美	束原修一	工信幸	本名正幸	本名久司	舟木秋広	中丸政則	渡部勉	齋藤晴朗	氏名

各区長の方には、村民の皆様との連絡をスムーズに行うため、連絡員として御尽力いただきます。

昭和村連絡員（区長）

固定資産価格等の縦覧について

固定資産課税台帳に登録されている価格等の内容をご覧いただけますので、ご希望される方は印鑑をご持参のうえ、ご来庁ください。

なお、この期間内に限り手数料は無料です。

- 縦覧期間** 令和5年4月1日から令和5年5月1日まで
(ただし、土曜日・日曜日・祝日を除き、毎日午前9時から午後5時まで)
- 縦覧場所** 昭和村役場住民係（窓口）

【お問い合わせ】 昭和村 総務課 住民係 ☎ 0241-57-2113

家屋を取り壊したら届出を忘れずに

固定資産税は、毎年1月1日に所有している土地・家屋・償却資産を対象に課税されます。住宅、車庫、土蔵など家屋の全部や一部を取り壊したときは、役場住民係に『家屋滅失届』を提出していただく必要があります。

なお、家屋滅失届の用紙は役場窓口にありますので、取り壊し後は忘れずに提出ください。

また、新築や増築された場合も、ご一報くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ】 昭和村 総務課 住民係 ☎ 0241-57-2113

令和5年度一般会計予算

23億9500万円

令和5年度の一般会計と特別会計予算が、3月に行われた第1回議会定例会で可決されましたので、その概要をお知らせします。

歳入については、新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰が村民生活に影響を及ぼしていることから、

村税は減額となる見込みを立てた一方、地方交付税は、国が令和4年度補正予算で増額した分の交付を勘案し、多少の伸びを見込んだほか、財政調整基金や目的基金を繰り入れるとともに、交付税措置の有利な過疎対策事業債を起債するなど工夫して財源確保を図ったところ です。

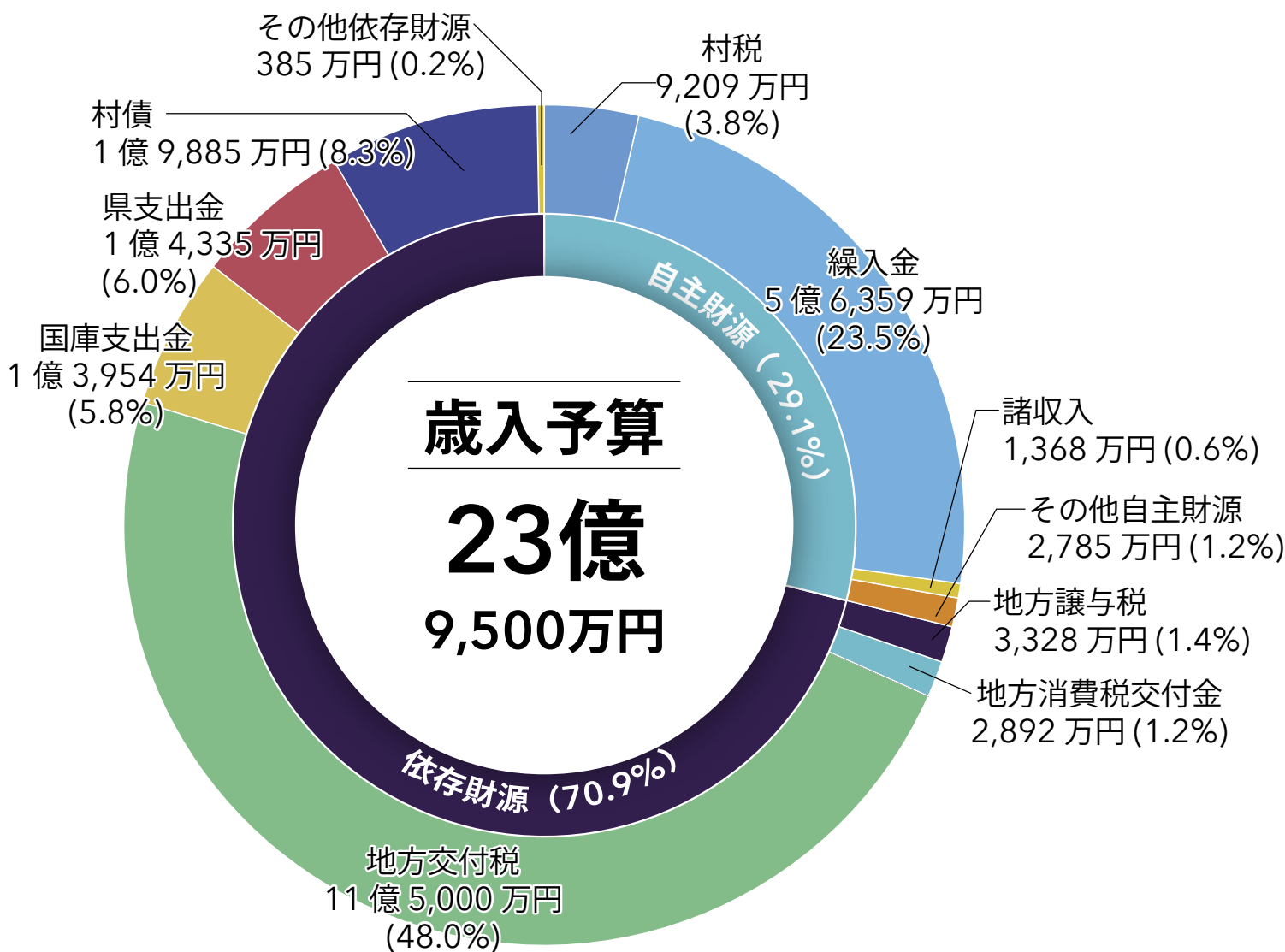
歳出については、各分野におけるこれまで

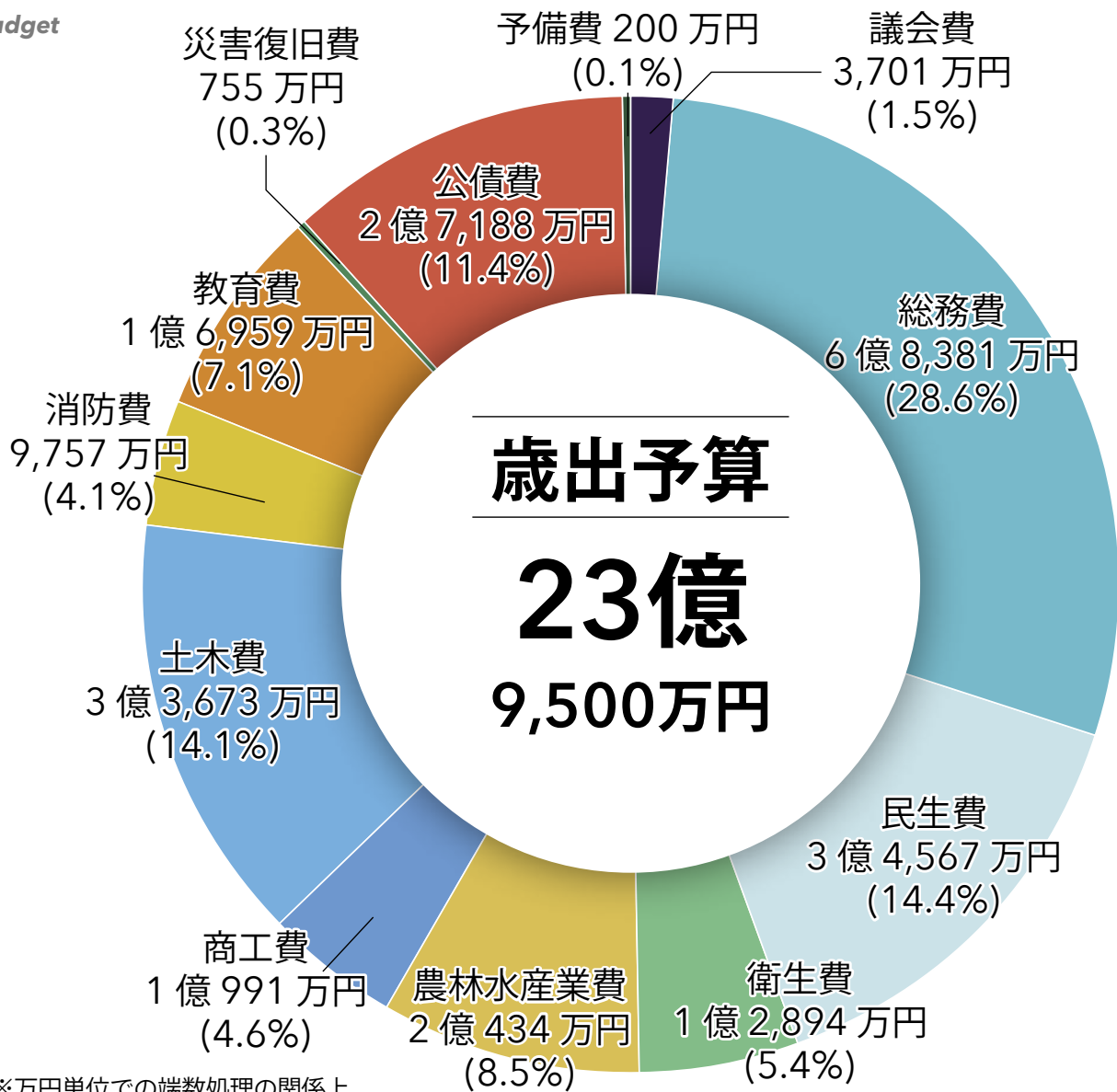
の事務事業の効果を検証するとともに、村の振興計画に関連した事業を重点的に計画しました。

その結果、一般会計予算の総額は前年度比で200万円減の、23億9500万円となりました。

村税の内訳

税種	予算額	前年度増減
村民税	3,657万円	▲153万円
固定資産税	4,525万円	▲1万円
軽自動車税	531万円	16万円
たばこ税	406万円	▲74万円
入湯税	90万円	16万円
合計	9,209万円	▲196万円





※万円単位での端数処理の関係上、割合の合計が100%となりません。

● 性質別予算額

	費目	予算額	割合
義務的経費	人件費	4億1,785万円	17.4%
	扶助費	3,721万円	1.6%
	公債費	2億7,188万円	11.4%
投資的経費	普通建設事業費	3億8,984万円	16.3%
	災害復旧費	755万円	0.3%
その他の経費	物件費	3億7,028万円	15.4%
	維持補修費	1億7,971万円	7.5%
	補助費等	4億3,153万円	18.0%
	積立金		
	貸付金 繰出金 予備費	2億8,916万円	12.1%

● 令和5年度特別会計予算

会計名	予算額	前年度増減
国民健康保険特別会計 事業勘定	2億1,234万円	706万円
国民健康保険特別会計 施設勘定	1億3,150万円	1,013万円
後期高齢者医療特別会 計	2,637万円	▲263万円
介護保険特別会計	3億6,587万円	179万円

● 令和5年度公営企業会計予算

会計名	収入額	支出額
簡易水道事業会計	1億948万円	1億895万円
下水道事業会計	1億7,593万円	1億7,758万円

水道事業及び下水道事業は令和5年度より公営企業会計に移行しました。

● 主な事務事業費

村民の皆様が「この村でここちよく暮らせる」環境づくりのため、多岐に渡り事業を計画していますが、そのうち各費目ごとの主な支出は次のとおりとなっています。

総務費 6億8,381万円

● 特定空家解体費用補助金	100万円	● からむし織体験生 30周年記念事業	575万円
● 路線バス運行費負担金	1,372万円	● 防災行政無線連携機能追加構築事業	3,458万円
● 昭和村南会津町生活バス運行委託	848万円	● 公共インフラ Wi-Fi 整備事業	1億8,718万円
● 昭和村南会津町生活バス冬期間試験運行事業	321万円	● マイナンバーを活用した移動サービス事業	1,711万円
● からむし織体験生・研修生事業	1,080万円	● 昭和村議会議員選挙費	720万円

民生費 3億4,567万円

● 昭和村社会福祉協議会補助金	502万円	● デジタルを活用した見守り支援体制実証事業	236万円
● 高齢者世帯援助金	100万円	● 昭和福社会補助金	2,632万円
● 敬老お祝い事業	146万円	● 老人休養ホーム管理費	2,258万円
● 高齢者生活福祉センター運営委託	776万円	● 放課後児童クラブ運営費	463万円
● 高齢者世帯除雪支援事業委託	114万円	● 昭和村保育所運営費	3,406万円

衛生費 1億2,894万円

● 出産子育て応援交付金	50万円	● 新型コロナウイルス感染症対策事業	317万円
● 不妊治療助成金	30万円	● ごみ収集車更新	1,500万円
● 総合検診事業	710万円	● 会津若松地方広域市町村圏整備組合衛生費負担金	1,038万円

消防費 9,757万円

● 消防団員報酬	501万円	● 消防団軽積載車更新	629万円
● 会津若松地方広域圏消防費負担金	6,378万円		

農林水産業費 2億434万円

● 新規就農者確保事業	5,613 万円	● 水田畑地化排水対策事業	61 万円
● 産地生産力強化総合対策事業	1,135 万円	● 景観形成作物普及拡大推進事業	130 万円
● 農林水産物集出荷貯蔵施設修繕	303 万円	● 用排水路等小規模修繕事業	250 万円
● 担い手農業者支援対策事業	1,296 万円	● 鳥獣被害対策事業	1,097 万円
● ライスセンター設備修繕	228 万円	● 水芭蕉としらかばの杜森林整備事業	561 万円

商工費 1億991万円

● 昭和村商工会補助金	260 万円	● からむし織の里運営費	2,856 万円
● プレミアム付き商品券発行事業補助金	150 万円	● 昭和村関係人口拡充事業	673 万円
● 奥会津特定地域づくり事業協同組合支援事業	500 万円	● 移住定住促進空き家活用事業費	1,145 万円
● 水芭蕉としらかばの杜改修工事	550 万円	● 喰丸小管理運営費	386 万円
● 昭和村観光協会補助金	1,319 万円	● 定住二地域居住推進事業	408 万円

土木費 3億3,673万円

● 国道 401 号博士峠工区全線開通準備事業負担金	20 万円	● 村道新設改良舗装工事	3,000 万円
● 道路維持管理費	3,875 万円	● 村道大岐二号線改良工事	1,300 万円
● 道路除雪事業費	1 億 1295 万円	● 村道入間方不動沢線改良工事	700 万円
● 除雪事務効率化事業	300 万円	● 住宅管理費	733 万円

教育費 1億6,959万円

● スクールバス更新	500 万円	● 生涯学習推進事業	112 万円
● 教員宿舎新築事業	1,150 万円	● 矢ノ原湿原及び駒止湿原保護事業	172 万円
● 複式学級及び特別支援教育支援事業	1,794 万円	● 芸術文化鑑賞会	66 万円
● 民具整理及び聞き取り調査	153 万円	● 学校給食センター運営費	1,725 万円

令和5年 3月議会
施政方針

令和5年度の村政執行に当たっての基本的な考え方と主要な施策について、第6次昭和村振興計画の基本目標の区分に従って、お知らせします。

1. 「持続可能な協創のむら」

人口減少が進む中、地域課題の解決には、村民と行政、さらには多様な主体が連携し、互いに役割を果たす村づくりの確立が必要です。そのためには、集落自らが主体的に集落の将来像を考え、方向性を定めた集落戦略を策定し、その実現に向けて活動することが大切であり、新年度も戦略の策定を支援するとともに、戦略策定後の集落に対しても支援します。

また、地域課題の解決には情報の共有も大切であるため、村の公式ホームページと公式LINEを更に活用して様々な行政情報を発信するとともに、村民がいつでも、誰でも事業提案できる仕組みを引き続き取り

入れます。
併せて、村民が地域において自分らしく暮らすために、生活支援コーディネーターの活動を通して地域課題や生活課題を把握するとともに、地域内で互いに支え合う体制を構築していきます。

2. 「心地よく暮らせるむら」

保健・福祉については、各種検診事業や保健事業を実施し、健康に対する意識の向上と生活習慣の改善に努め、医療・介護・福祉の充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症にもしっかりと対応していきます。また、高齢者見守り支援員による安否確認事業を継続するほか、保健師や生活支援コーディネーターが積極的に向き、健康管理を始め、健康指導を行うことにより、疾病予防・健康づくり対策に繋げていきます。

医療については、村国民健康保険診療所における内科及び歯科診療の充実を図るため、医療機器を更新する予算を計上しました。社会教育については、村民一人一人が個性を生かし

ながら、自主的・主体的に学習活動に取り組める魅力的な学級や講座を開催し、引き続き、生きがいの創出や学びの機会の提供に努めます。また、村民の郷土理解を深めるため、地元学としての昭和学講座により郷土愛を醸成していきます。

社会体育については、村民が「いつでも、どこでも、誰でも」自由にスポーツ活動に親しむことができるよう、村体育協会を始め、各種団体や村スポーツ推進員の活動を支援するとともに、ふくしま駅伝「希望ふくしま」チームの一員として参加する本村選手をサポートしていきます。

交通手段の確保については、交通弱者と呼ばれる人たちの日常生活を支える多様な交通手段の構築が急がれていることから、今後の地域における公共交通のあり方を計画するため、交通量調査や昭和村南会津町生活バスの冬季試験運行を継続して実施します。併せて、新年度は利用者が必要とするときに利用できる村内移動サービスの構築を検討していきます。また、村外へ

の交通対策として、開通が予定されている国道301号博士峠バイパスを経由した公共交通の実証運行に向け、更に準備を進めていきます。

非常時の体制については、現在の防災行政無線の設備が運用開始から10年以上が経過しているため、新たな通信手段を追加した上で更新を進めていきます。また、近年は大規模な災害が全国的に頻発しており、地域ぐるみでの防災体制づくりが求められていることから、新年度も集落と共同で防災訓練を行うとともに、消火栓や消防団の装備などを計画的に更新します。

村道等の除排雪体制については、効率的な作業の実施を引き続き検討するとともに、新たな除雪オペレーターへの確保に対する支援を行い、安全で安心な冬期間の交通確保と冬に強い生活環境の維持に努めていきます。また、高齢者の除雪支援として、住宅の維持管理に必要な除排雪設備の設置に対する助成や、登録除雪作業員による除雪支援事業を継続します。

ては、集落機能の安定的な維持・継続に向けて、普請や行事等に参加する新たな住民を確保するため、村が所有者から空き家を借り上げてリフォームし、就農希望者等の住居として貸し出す「移住定住促進空き家活用事業」を新たに当初予算に計上しました。また、本年度に開始した空き家コンシェルジュ事業を継続し、移住希望者への空き家の情報提供や集落等への情報伝達、空き家バンク未登録物件の調査など、総合的な世話を担っていただくことで、集落や地域住民と情報を共有し、円滑な合意形成による空き家利活用に努めていきます。さらに、移住に強く関心がある方々を対象に、移住体験モニターツアーを行い、その様子を動画配信するなど、本村の魅力を積極的に発信しながら移住者を増加させる取組を推進するとともに、移住・定住に関する相談にも引き続き丁寧に対応していきます。

環境美化については、不法投棄の防止を徹底し、ごみの減量化を推進すると

もに、安定した収集体制を確保するため、ごみ収集車両を更新する予算を計上しました。

3. 「生きる力を育む教育のむら」

持続可能な昭和村を築いていくためには、昭和村を愛し、高い志を持って未来をひらく人材の育成が大変重要なことから、本村ならではの小中一貫教育を実現できるよう、新年度は教職員や保護者、村民による小中一貫教育の先進地視察や検討会を行っていきます。

学校教育については、小学校が完全複式となる見込みですが、村独自で講師や特別支援員を配置し、児童の個々の学びに応じた学習の定着を支援するとともに、通学の安全確保を図るため、老朽化したスクールバスを更新したいと考えています。さらに、教育委員会と保健福祉課、保育所、小中学校などの連携を深め、妊娠・出産から子どもの成長に配慮した切れ目のない支援を行う、安心して子育てができる環境を構築していきます。子育て支援については、

保育所や放課後児童クラブの運営を充実させ、保護者が安心して働きながら子育てができる環境を維持していきます。また、国の出産・子育て応援交付金の支給を始め、子育て期間における医療費の助成や乳幼児衛生用品の支給を継続し、子育て世代の負担を軽減するとともに、新たに、不妊治療に要する費用の一部を助成することで、妊娠を望む夫婦の経済的な負担を軽減したいと考えています。

教職員の住環境については、小中津川にある教員宿舎の老朽化が著しいことから、1棟4戸の住宅に建て替えるため、新年度に設計等を行い、令和6年度に着工する計画としています。

4. 「生業と誇りある仕事を生むむら」

農業の振興については、担い手対策支援事業において、新年度からは園芸作物を作付けする認定農業者等を対象とし、農業者の生産意欲と所得の向上を図るとともに、地域農業の振興や活性化、農地の有効活用により耕作放棄地等の発生を

未然に防ぐなど、持続可能な営農体系の構築に努めていきます。また、宿根カスミソウの新たな担い手の確保に向け、引き続き関係機関と連携し、積極的に取り組んでいきます。

景観形成作物の普及拡大については、農業従事者の高齢化や後継者不在による担い手不足、農産物の価格低迷などにより、集落組織や生産組合等においては、これまでと同様の作物による営農継続が困難になっていることから、今後優良な農地を確保し、耕作放棄地や遊休農地の発生を未然に防いでいくため、新たに作業の省力化や従事者の少人数化等の効果が期待される景観形成作物の普及推進に取り組んでいきます。

特定地域づくり事業協同組合については、本村、柳津町及び三島町の事業者に人材を派遣する仕組みにより、地域担い手の通年確保や地域社会の維持・活性化を図るため、奥会津地域づくり協同組合が昨年設立し運用が開始されたことから、引き続き関係自治体と連携しながら、安定的な運用に

向け支援します。

継業・起業については、水稻を大規模に作付けし、集落や地域の担い手として活躍している認定農業者であっても、縁故者による後継者の確保が見通せない状況にあり、将来的に営農の継続が困難になった場合には、住家付近においても耕作放棄地や遊休農地が発生し、景観や環境の悪化、鳥獣による被害の増大など、日常生活にも影響を及ぼす懸念があります。このため、県やJA等の関係機関と連携し、第3者への経営継承や研修制度等による後継者確保等の意識調査を行い、持続可能な営農体制の構築に向け検討します。また、新たな商品開発や販路拡大を検討している方に対する補助を継続し、支援に努めていきます。

からむし織体験生事業については、令和5年度、30年の節目を迎えます。これまでを総括するシンポジウムの開催を始めとした一連の記念事業を実施することで、村内においては改めて「からむし」に目を向ける環境をつくり、村外において

も本村の伝統文化を広くPRし、関係人口の拡大に繋げていきます。

からむし栽培については、技術を担い手に承継し、今後も産地として維持していくため、栽培に係る奨励制度を拡充したいと考えております。また、からむし工芸博物館で計画している企画展「からむしと農書・本草書・博物学書」や、地機織学習会などを通して、からむしに触れる機会を引き続き提供していきます。

奥会津昭和からむし織については、国の支援を得ながら、後継者の育成や需要の開拓など、関係団体と連携し、更なる振興に努めていきます。

伝統文化等の保全については、本村の自然や歴史、伝統文化など数多くの地域資源を民具整理・聞き取り調査や、文化財・古文書調査、昭和学講座として継承するとともに、国指定天然記念物駒止湿原及び村指定天然記念物矢ノ原湿原の保護監視を継続していきます。

観光・誘客については、新年度も草加市で開催されるイベントに参加する団体を

支援するとともに、草加市民や草加市の小学校児童が本村を訪れ、自然や伝統文化などを体験する機会を通して、交流の活発化と友好関係の発展に繋げていきます。また、本村としても首都圏で開催されるイベントに参加して積極的にPRするとともに、喰丸小を活用したチャレンジショップやマルシェ等を通して、本村の魅力を発信し、賑わいを創出していきます。さらに、国道401号博士峠バイパスの開通を見据え、水芭蕉とさらかばの杜敷地内の間伐や下草刈りなどによる森林整備を行い、景観の保全を図るとともに、遊歩道や木橋、建物などの修繕工事や、新たな案内看板設置により利便性を向上し、多くの方に足を運んでいただけるよう、魅力ある観光施設の整備に取り組んでいきます。

有害鳥獣被害の軽減については、新年度も県会津坂下農業普及所により選定された鳥獣被害対策モデル集落に、見回りや物品購入等に対する財政面での支援を継続し、持続可能な体制の構築に向けて積極的に協力していきます。また、既に地域ぐるみで実施している集落等に対しては、より効果的な進入防止対策となるよう、関係機関の協力を得ながら情報提供を行うとともに、広域的な対策が困難な集落に対しては、課題解決に向けた意見交換を行いながら、集落の実情に即した鳥獣被害対策を推進します。さらに、集落等が実施した電気柵設置による被害軽減のための取組や、個人による電気柵の導入、ワナ猟免許や銃猟免許の取得、情報通信技術を活用した電気柵の維持作業省力化の実証箱ワナの整備やくくりワナの購入などについても、支援を継続します。

5. 「先端的過疎への挑戦」

国では人々の生活をより良くしていくために、様々な分野にデジタル技術を浸透させる変革を進めています。会津地域13市町村と県会津地方振興局でも、会津地域自治体広域連携指針を策定し、デジタル技術やあらゆる手法を活用して、地域の課題解決を進める取組

を始めます。本村の新年度におけるデジタル技術活用の施策については、村民のデジタル活用の普及啓発を更に進めるため、集落ごとにスマホ教室を開催するほか、本村のデジタル施策の基盤となる公共インフラWiFiを居住地域全域に整備いたします。また、村民の行政手続簡略化のため、マイナンバーを活用した手続の運用に取り組むほか、気象や防災、有害鳥獣対策の分野において各種センサーの拡充を図るとともに、農作物の栽培支援などで活用されるスマート農業実践事業や、一人暮らし高齢者の見守り実証事業、除雪業務の効率化のための遠隔操作実証事業、カスミソウ農家との協創型実証事業にも取り組んでいきます。

有害鳥獣出没状況のビッグデータ化については、村民から寄せられた有害鳥獣の目撃情報や出没情報をデータとして蓄積・一元管理することで、猟友会や鳥獣被害対策実施隊などに情報を提供し、効果的なワナの設置や効率的な電気柵等の設置、従事者の労力軽減に繋げられるよう、本格的な運用に向けて引き続きデータを収集します。

6. 「選択と集中の行政運営」

役場庁舎については、建築から50年以上が経過し老朽化が進むとともに、耐震性も十分に確保されておりません。庁舎は行政機能を担うだけでなく、災害発生時には中核としての機能を発揮しなければなりません。後、可能な限り早期に、今後の在り方を検討する必要があります。このことから、昨年10月に行政内部での検討委員会を設置したところですが、新年度には、住民参加の検討委員会の組織作りに着手していきます。

村道整備については、一部未改良となっていた小野川地内の村道に関し、県との協議が整ったことから早期の完成を目指すとともに、これまでの要望や、現在の実情、緊急性などを勘案し、中向地内の新設改良舗装工事及び下中津川地内の改良舗装工事を計画しています。村道等の維持管理については、路面の補修等を画的に実施するとともに、橋梁の長寿命化修繕計画の更新業務委託を行うなど、地域住民の安全確保に努めていきます。

公営企業会計については、本年4月1日から、簡易水道事業と、公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽を合わせた下水道事業が公営企業会計に移行するため、専門的な知識を必要とする財務諸表の作成等に関してアドバイスを受けるための業務を委託し、地方公営企業法の円滑な運用に努めてまいります。

皆さんの声 聞かせてください

村では、自由なタイミングで村政に対して提案・提言できる制度「皆さんの声聞かせてください」事業を実施しています。ホームページや、役場に備え付けの用紙でご提案ください。

●お問い合わせ:

総務課 企画創生係
0241-42-7717

地域づくり懇談会の内容をお知らせします！

地域づくり懇談会は12月15日から12月23日にかけて、村内10会場で行われ、計57名が出席しました。村からは村長、副村長、教育長、各課長が出席し皆様から日頃考えていることやご提案、ご意見を約200件の議論を交わしました。その主な内容をお知らせします。

参加者の状況は、次のとおりです。

地区別参加者数	地区名	人数
	小野川	7
	大芦	4
	両原	6
	喰丸	3
	佐倉	4
	小中津川	6
	下中津川	9
	中向	7
	野尻	6
	松山	5

●参加57名の年代別状況

年代	全体	男性	女性
90代	1	1	
80代	12	11	1
70代	29	28	1
60代	13	13	
50代	1		1
40代	1		

●話題が多かったもの
トップ10

話題	件数
農業担い手対策・農地保全	17
博士トンネル開通後の交通・利活用	15
空家対策・利活用	12
小中一貫校	10
国県村道除雪	10
集落戦略策定	9
新型コロナウイルス感染症対策	7
新規就農者対策	6
交通安全対策	5
風力発電反対運動	4

① 農業担い手対策・農地保全について

〔質問〕各地区の営農生産組合は蕎麦販売価格の下落、物価高騰により経営が厳しい。今後の見通しは。

〔回答〕物価高騰がいつまで続くか不明で、蕎麦は農協系統販売で令和3年産の売り先が見つからないうえ令和4年産も販売価格は高いものの売切れていない。JAが販売促進できるように支援策の話し合いの場を持ちたい。

また、農地維持の面から少ない作業員で短時間作業を可能とする機械化が可能な景観形成作物の導入支援も検討している。

〔質問〕生産組合が管理する農地は水はけが悪いなど圃場条件が良くない上に、人員不足と高齢化で組合維持が困難で遊休農地が増えないか心配だ。

〔回答〕各地域で共通した地域課題。短時間で維持できるような機械化が一つのポイントになる。また、生産年齢人口の定住も重

要なことから、地域で活動する新しい人を受け入れるための空き家を利用した移住促進政策も進めたいので、生産組合の方と意見交換会を設けたい。

〔質問〕昭和村の農業と言えは花と米の両輪と思うが、米価下落など米作のほう心配だ。本村唯一の農業生産法人グリーンファームは社員募集に応募が少なく、万が一、規模縮小となれば村全体の耕作放棄地が増える恐れがあるのではないか。

〔回答〕以前、地域おこし協力隊募集を募ったが応募がなかった。臨時雇用や柳津町・三島町・昭和村合同で開始した人材派遣事業に手を挙げ就労に繋がればと期待している。グリーンファームは村及びJAで出資した非常に公益性の高い仕事を請け負っているため、グリーンファームが立ち行かなくなると村全体の農業に影響があるので人材確保を含めて村として支援策を検討したい。

② 博士トンネル開通後の交通・利活用について

〔質問〕令和5年度中に博士トンネル開通と聞いたがいつ頃になるのか。

〔回答〕正確な供用開始時期は県より回答がない。

〔質問〕博士トンネル開通を目前として、各集落の魅力づくりを仕掛けてほしい。地区住民が夢を持てるよう役場と地区の連絡調整を密に図れる体制が必要ではないか。

〔回答〕各集落の特徴を捉えて、どのような集落としたのか合意形成を図っていただき、それを具現化するために集落戦略を策定していただきたい。松山地区は村内で最初に集落戦略が完成した。空き家と新規就農者のジョイントをテーマに農地の利活用方法を計画している。松山地区が今後、どのように進んでいきたいのか集落全員で合意形成し作り上げて頂いた。役場職員が集落に出

向くことは可能ですので、お誘いいただきたい。

【質問】 残土場所の有効利用はできないか。

【回答】 現状復帰が原則。残土は必要とする場所に運搬予定で、何年かかるか不明だが、検討材料として聞いてみる。

【質問】 免許証を返納してもいいが足の確保が大変になり返納できない。博士トネル開通も含めて高齢者の免許返納後のサポートを考えてほしい。

【回答】 博士トネルは医療福祉、観光、地域経済の活性化など有益なトネルになる。昭和村から会津若松までの公共交通を整備計画中でバス会社に村の考えを伝え提案をお願いしている。供用開始時期が分からないと提案も難しいため進んでない状況ですが、基本的にバスを通したいので実証実験を実施したい。

③ 空家対策・利活用について

【質問】 最近、空き家を解体する件数が増えている。今後も増えそうだ。戸数が減ると地区として好ましくない。

【回答】 空き家は朽ち果てた空き家、そして利活用できる空き家の二極化。隣近所に被害を及ぼすような空き家は村が特定空き家に認定し所有者に解体を通知している。取壊費用の一部を村で助成している。本年度は2件解体に結びついたが、困難な物件もある。固定資産税の納付書発送時にもお知らせしている。

【質問】 空き家の管理や除雪が大変だ。

【回答】 喰丸小の観光交流係に空き家バンク登録などご相談いただきたい。さらに今年から3人が空き家コンシェルジュとして最前線で相談に乗っていただいている。

【質問】 最近空き家バンクに登録し売買を希望する方が増えてきた。売買価格は売り手の意向で決めて

いたが、適正価格の取引になるよう民間業者に委託して、その家がどれくらいの価値があるのかを調べて販売価格に使っている。

【質問】 地区として空き家問題を重要視している。移住者と良好な関係性を築きたい。

【回答】 新年度は空き家改修と人を呼び込む空家リノベーション制度を検討している。

【質問】 空き家コンシェルジュの皆さんと一緒に村としては移住した人、特に生産年齢人口の人には地域に入ってもらい、地域の普請や祭りなど地域活動に参加するよう伝えていきたい。

【質問】 他地域から移り住みたいと思えるような小中一貫校を目指してほしい。

【回答】 今年度取り組んでいることが4点ある。

1つ目は、中学校専門教員が小学校に出向いて

小学5年・6年生の授業実施。先生の意識も変わってきて、他の学校で経験できない貴重な経験だと発言していた。

2つ目は、文化祭を小中合同での実施。中学校の校長先生が是非、合同でやらせてほしいということ初めて合同文化祭を昭和村公民館で開催した。最後に合同合唱も行い、人数も少ない中で裏方など児童生徒、職員が一緒に関わり合いながら手作りの文化祭ができたのは素晴らしい。

3つ目は、檜枝岐小学校校長による講演会を行った。どういう経過でどのような形で小中一貫校を行っているのかを聞くことができた。成果や課題を皆さんに理解していただく形ができたのは大きかった。

4つ目は、小中学生の保護者や保育所の保護者、学校を支援してくださる方と一貫教育について意見をもらう子育て井戸端会議を行った。今年は結論は出さずに、いろいろな話を我々が受け止めるということで行った。

【質問】 校長住宅の建設はいつ頃の予定か。

【回答】 小中津川字石仏地内にある校長住宅2棟と、その隣の教員住宅1棟の合計3棟を壊して、1棟4世帯の住宅を建てたい。令和5年度は設計に着手し令和6年度に建築したい。

村長との対話室

日頃「昭和村」について考えていることを、気軽に村長と話し合いませんか。

日時を調整しますので、総務課までお電話にてご連絡ください。

●場所：役場 村長室

●お問い合わせ：

総務課 総務係

☎0241・57・2111

〔連載〕 昭和村の歴史と文化

（第4回）

昭和村文化財保護審議会委員長
菅家 博昭（大岐）

湿原という記憶装置

只見町教育委員会が2014年に町内大曽根湿原、2015～2016年に大谷地で、ボーリング調査を行い、花粉分析・年代測定・珪藻分析を行い、各湿原の周辺環境の植生変遷の復元をした（『只見の湿原 その生態と歴史』只見町ブナセンター、2018年）。大曽根湿原は3万3千年から6千年前は最終氷期でも比較的温暖な時期を経て最終冷期（2万年前）を含む東北南部の山岳湿原は1万5千年前になると降水量が増加し泥炭層が発達するが、大曽根湿原は6千年前からとなっている。大谷地は1万年からの情報が得られ7千年前から泥炭が安定して堆積していた。

花粉分析からは4万5千年前から1万6千年前の時期は針葉樹と落葉広葉樹の混交林、その後の寒冷化で落葉広葉樹が後退し、亜寒帯性針葉樹林となった。最終氷期が終わる1万年前から7千年前はブナ属が増加し、サワグルミ属、クルミ属、コナラ亜属などが分布を拡大。クルミ属が減少しトキノキ属樹木が優先。その後はブナ属・コナラ亜属の落葉樹林が成立。

は、佐々木由香氏とともに2月5日に福島市の文化センターで川俣町の縄文中期の前田遺跡の解説の講演もされた。

さて、3月11日に下中津川の昭和村公民館2階研修室で、「令和4年度矢ノ原湿原等調査報告会」が開催された。オンラインで報告参加された東京大学大学院の渡辺樹（たつき）氏の「矢ノ原湿原堆積物からみた火山噴火の歴史」約10万年間の記憶」は2022年夏に行ったボーリング調査の結果の中間報告であった。

歴史民俗博物館を経て、現在は学習院女子大の工藤雄一郎氏は、猪苗代湖西岸丘陵地の環境復元に取り組んでいる（『赤井谷地における古環境調査―福島県笹山原遺跡の生態系史復元を目指して―』2019年）。工藤氏

で火山灰の採取をしている。これを踏襲し、渡辺氏は2カ所のボーリング調査を実施し火山灰編年学による分析をした。

火山噴火で飛来する火山灰・軽石・スコリアなどの堆積物の火山ガラス・鉱物の分析、放射性炭素年代測定などを実施された。

南湿原の土層には12枚の火山灰層が確認され現在も精査中である。叶内氏の1988年当時8万年前と考えられていた火山灰は、現在は9万5千年前に比定される。しかしいちばん下層の火山灰は8万5千年前から10万年前と推定されている。

また新しく十和田・立山・御岳・始良（鹿児島）など遠方の火山灰と、浅間・榛名・赤木（群馬県）など近隣の火山灰も確認された。

北湿原の掘削地点は3万年前からのデータが

得られており、形成・成立した年代が異なる可能性があるとされた。

尾瀬や駒止湿原には二ホンジカが6月に出産し冬は移動する、ということがわかっていく。イノシシやクマも湿原に集まる。こうした立地を旧石器時代～縄文時代早期の人々は利用している。

写真は渡辺氏の報告より（矢ノ原南湿原のボーリングコア）





(原文)

Hello residents of Showa Mura,
When I arrived in Japan I was surprised to learn about graduation ceremonies. In New Zealand we only have two graduation ceremonies, for when you complete high school and university. We also do not have entrance exams for any school. During high school we have very important exams at the end of the year that gain us points. Over the three years we gain enough points to gain university entrance. Then once we have graduated, we apply to universities by submitting our request to join. The universities look through the applicants and inform us if we have been accepted or not. Usually, you apply to many universities to be safe. I was a little mischievous and only applied to one. I'm lucky they accepted my application.
Once you have completed your university degree, we have our final graduation ceremony, these are a lot more formal than high school graduations. We often wear a cloak, with the inside of the hood being lined with colored fabric. The color of the fabric depends on the subject that you studied. From my memory if you studied art (like I did) it was pink inside.
Congratulations to the graduating students! Thank you for studying hard and doing your best. I look forward to teaching the new first graders in junior and elementary high school and I wish the 3rd graders the best in their new high school lives!
Until next time. ~ Annick

※今月号より、日本語訳を別ページに移動しました。答え合わせをしながら、英語を読んでみましょう。

ふるさと納税 — ご寄附いただいた皆様ありがとうございます —



令和5年2月21日 ~ 令和5年3月20日まで

【寄附件数】 2件 【寄附金額】 5万円

ご寄附は地域の活性化事業や保健・医療・福祉の充実等村の抱える課題解決に活用させていただきます。

ご寄附いただきありがとうございます。

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）を実施します。

申し込みは、インターネットにより行ってください。

インターネット申込受付期間 6月19日（月）9:00～6月28日（水）

第1次試験日 9月3日（日）

なお、申込方法や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページの「国家公務員試験採用情報 NAVI」をご覧ください。

【お問い合わせ】 人事院東北事務局 第2課 試験係 022-221-2022

地域おこし協力隊

松尾 悠亮

昭和村医学史料の紹介 下中津川医師本名俊甫について①

下中津川で活躍した本名俊甫という医師に関する史料を、今回から数回にわたり紹介します。

1. 本名俊甫のプロファイル

『昭和村の歴史』二〇〇頁には次のように書かれています。

本名俊之助、下中津川の人。享和2年（1802）10月26日生れ、明治26年（1893）2月6日歿、92才。修道、信助、俊甫と名のる。

下中津川村名主を40年勤め、村内の風俗善導につとめ、大谷組間方村名主も12年間兼務する。傍ら若松で修得した医業に励んで仁術を施し、冬期

は塾を開いて村民を教育した。村人は殿林という山林五町歩を贈り、感謝の意を後世まで示した。

2. 本名俊之助改名願「口上之覚」（画像、個人蔵）について

次に紹介する古文書は、俊之助から俊甫へ改名するにあたり、師の宇津野松甫が「御蔵入御役場」に宛て出した願書の控えです（一紙、折紙）。

この文書から、本名俊之助（俊甫）は、文政6年（1823）、21歳で医学の勉強をはじめたことが分かります。先師（最初に就いた師）の病死後に、宇津野松甫に就いて医学を修めました。松浦について詳細は不明ですが、会津藩の御用医師に宇津野の名字がみられるので、その関係者かと思われるかもしれません。

願いが出された辰年について。俊之助が医学を学びはじめた文政6年以降、亡くなる明治26

年までの辰年は、天保3（1832）・天保15（1844）、弘化元（1843）・安政3（1856）・慶応4（1868）、明治13年（1880）・明治25（1892）年の計6回です。「名主俊之助」の名前が出てくる文久元年の文書（年貢の支払い関係）が残っていること、「本名俊甫」の名前で明治12年（1879）に書かれた死亡診断書書上控が残っていること、この2点からここでの「辰年」は慶応4年（明治元年）だと推定できます。

明治に移り変わる丁度境目に改名し、新しい時代を医師として生きていきました（続）。

（注）以下史料は、古文書勉強会（昭和村教育委員会主催）で読んだ史料です。解説にあたり、小林盛雄さんや受講生の皆様からご助言をいただきました。



【翻刻】

口上之覚

私門人南山御蔵入中津川村本名俊之助義、文政六末年の医業仕居候処、先師病死後、私門人二相成修行致居候所、其節医名俊甫と与へ置候処、村方役義相勤居候二付、其俣差置候所、最早役義退役致候二付、俊甫と改名為仕度奉存候、尤当人医師為修行年々医極為見出度、年切之上治療遂々上達致候間、右俊甫と改名被仰付被下度奉存候、以上
辰正月 宇津野松甫
御蔵入御役場

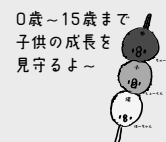
【現代語訳】

私の門人南山御蔵入中津川村の本名俊之助につきまして、文政六年から医学を勉強していましたが、先師（以前の先生）が病死した後は私の門人になって修業しておりました。その際、俊甫という医名（医者としての名前）を与えましたが、村役人としての仕事を（俊之助は）勤めなといけなかったので（名前は）そのままにしました。この度（俊之助は）村役人を退役することになりましたので、俊甫と改名させたく思います。当人には医師修業として医学の極みを見出させたく（修行させ）、年切の上、医術もやっと上達しましたので（御役場から俊之助へ）俊甫と改名仰せつけられたく思います。以上。



1 時間目

「少子化と先生の数のバランス」



村では小中一貫教育を推進するべく、学校や保護者だけでなく、村民や村外の皆様にも、様々な情報や現状についてお知らせするため隔月で連載を行います。

【お問い合わせ】教育委員会 0241-57-2164

昔、昭和村でも1学年20人の子もたちがいた時代、テレビで離島の小学校の特集を見ました。子ども1人に対して校長先生1人、担任の先生1人の計2人の先生です。先生は子どもに付きっきりで指導し、島の住民全員に温かく見守られながら成長していきます。少し寂しいけれど、なんだかほっこりした記憶があります。

しかし、大人になって改めて考えると、いい話だね、感動したね、それだけで片付けられる話しではない事に気がつきます。残念ながら法律によって、子どもの数が減れば先生の数も自動的に減らされる仕組みだからです。昭和村でも子どもより先生の数が多い、そんな現実が間もなくやってきます。このまま何もせず、只々子どもと先生が減ってゆくの見守るしかないのでしょうか。答えは

ノーです。例えば、物理的に子どもの数が増えれば、先生も再び増えます。自然発生的に子どもが増える場合もありますが、からむしやカスミソウなどの政策に付随して増えたり、村の環境や教育方針に賛同した移住などによって増えたりする場合があります。また、政策的に小中一貫教育を導入するなどすれば、先生も実質的に増えます。9年間の教育目標を定め、村の特色を生かした学校運営が行われれば、それを積極的に選択する転入という好循環も期待できます。

こうした点を踏まえると、一貫教育は単なる「手段」でしかない事に気がつきます。村の子ども達がどのように学んで、どのように成長して、どのように羽ばたいていくか、それを見守り、導くための方法の一つなのです。

日本語訳 | アンニックが見た昭和村 #27

日本に着いたとき、卒業式のことを知って驚きました。

ニュージーランドでは、卒業式は高校と大学の2回しかありません。また、どの学校にも入学試験はありません。高校時代、年末にポイントを獲得するための非常に重要な試験があります。3年間で、大学入学に必要なポイントを獲得できます。そして、卒業したら、入学願書を提出して大学に出願します。大学は応募者を審査し、私たちが受け入れられるかどうかを知らせます。通常、安全のために多くの大学に出願します。(私は) ちょっとやんちゃで、1つしか応募しませんでした。彼らが私の申請を受け入れてくれたことは幸運です。

大学の学位を取得したら、最後の卒業式を行います。これは、高校の卒業式よりもはるかに正式なものです。私たちはしばしばマントを着用し、フードの内側には色付きの生地が並んでいます。生地の色は、勉強したテーマによって異なります。記憶では、もし芸術について勉強すれば(私がしたように)、中はピンクです(でした)。

卒業生の皆さん、おめでとうございます！一生懸命勉強して頑張ってくれてありがとう。中学校と小学校の新1年生に教えることを楽しみにしています。

次回まで。～アンニック

昭和村役場人事異動

次のとおり、4月1日付けで職員の仕事異動がありましたので、お知らせいたします。
(新・新任、前・前任)

栗城 進也

新：昭和村教育委員会教育次長(兼)
公民館長(兼) 学校給食センター所長
前：総務課長(兼)安全運転管理者
(兼)選挙管理委員会書記長

束原 健二

新：総務課長(兼)安全運転管理者
(兼)選挙管理委員会書記長
前：産業建設課長(兼)農業委員会事務局局長
(兼)昭和村土地改良区出向

齋藤 理史

新：総務課付課長奥会津振興センター派遣
前：総務課からむし振興室長

永戸 敦

新：産業建設課長(兼)農業委員会事務局局長
(兼)昭和村土地改良区出向
前：昭和村議会事務局局長(兼)監査事務書記長

星 憲一

新：会計管理者(兼)出納室長
前：昭和村教育委員会主幹(兼)教育係長
(兼)学校給食センター係長

五十嵐 敏幸

新：昭和村議会事務局局長(兼)監査事務書記長
前：総務課主幹(兼)企画創生係長(兼)

DX推進チームリーダー

渡辺 智子

新：総務課企画創生係長(兼)

DX推進チームリーダー

前：昭和村教育委員会主査(兼)DX推進チーム

根本 崇範

新：産業建設課からむし振興係長

前：総務課からむし振興室主査

鶴川 洸一

新：教育委員会教育係長

(兼)学校給食センター給食係長

前：総務課総務係主査

本名 歩

新：総務課総務係主事(兼)DX推進チーム

前：農業委員会主事(兼)産業建設課

産業係主事(兼)DX推進チーム

菅家 良太

新：教育委員会教育係主事

前：保健福祉課保健係主事

酒井 康史

新：保健福祉課保健係主事

前：総務課住民係主事

木村 大輔

新：農業委員会主事(兼)産業建設課

産業係主事

前：産業建設課観光交流係主事

奥会津振興センター派遣

猪股 京太郎

新：保健福祉課福祉係主事

前：産業建設課建設係主事

五十嵐 久佳

新：総務課住民係主事

前：産業建設課産業係主事

【退職】(3月31日付)

本名 久喜

会計管理者(兼)出納室長

本名 千代

昭和村教育委員会教育次長(兼)公民館長

菅家 チイ

昭和村保育所主任保育士

金子 まきえ

保健福祉課 福祉係主査

【新採用】(4月1日付)

栗城 拓弥

産業建設課産業係主事(兼)DX推進チーム

渡部 駿

産業建設課建設係主事

【再任用】(4月1日付)

本名 久喜

産業建設課からむし振興係専門員

菅家 チイ

昭和村保育所主任保育士

警察署からのお知らせ

ゴミの処分はルールを守ろう!STOP!ゴミの焼却!!

◆ 廃棄物の焼却禁止 ◆

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下廃掃法）では、

- ・各種廃棄物の処理基準に従って行う廃棄物の焼却
- ・他の法令又はこれに基づく処分により行う廃棄物の焼却
- ・公益上もしくは社会の習慣上やむを得ない廃棄物の焼却又は周辺地域の生活環境に与える影響が軽微である廃棄物の焼却として政令で定めるものを除いて、廃棄物を焼却することを禁止しています。

◆ 罰則 ◆

廃掃法を守らないと、5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金、またはその両方の処罰を受けることになります。

また、企業などの法人が違反した場合の処罰は3億円以下の罰金となります。

（焼却禁止に含まれないもの）

廃掃法の焼却禁止から除外されるものの例として、農業を営む方が稲わらを焼却する場合や、歳の神などの地域行事によるしめ縄や門松の焼却、たき火やキャンプファイヤー等を行う際の木くずの焼却などがあります。

しかし、これらに該当する場合であっても、ビニール等の他の廃棄物を一緒に焼却した場合には、廃掃法違反に該当します。

また、火をつける際には、いつでも火を消せるように消火の準備を事前に整えておき、いつでも火を消せるように燃えている間は火から目を離さないようにしましょう。近所の人の迷惑にならないよう時間帯や風向きなどにも十分注意しましょう。

昭和村内街頭犯罪等発生状況

（令和5年2月末時点）

区分	管内	昭和村
街頭犯罪	強盗	
	空き巣	
	忍び込み	
	事務所荒らし	
	出店荒らし	
	自動車盗	
	オートバイ盗	
	自転車盗	
	自販機ねらい	
	車上ねらい	
	ひったくり	
	部品ねらい	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	0	0
その他刑法犯等	6	0
全刑法犯	6	0

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和5年1月1日からの累計数になっています。



消防署からのお知らせ

春到来。乾燥シーズンはまだ終わらない！

暖かな春の日ざしがなによりうれしい季節となりました。

しかし、春は季節風により風が強く、空気が乾燥しているため、火災の危険が高まります。

● 今一度ストーブの取り扱いに注意！

- ・ストーブの上に洗濯物を干さない。
- ・暖房器具のまわりは、つねに整理整頓する。
- ・火を消してから、給油する。

4月は風が強く、乾燥しているため、

火の扱いには十分ご注意を！！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなど火災を感知しなくなる場合があります。定期的な作動点検、10年を目安にした交換の検討をお願いします。



火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>

◆◆◆ 4・5月の休日当番医 ◆◆◆

- 4月9日(日) 吉川医院
☎ 0242-56-3358 (会津美里町)
- 16日(日) 県立宮下病院
☎ 0241-52-2321 (三島町)
- 23日(日) 平野医院
☎ 0242-83-2243 (会津坂下町)
- 29日(土・祝) 荒井医院
☎ 0242-83-2224 (会津坂下町)
- 5月3日(水・祝) 遠山眼科医院
☎ 0242-83-2011 (会津坂下町)
- 4日(木・祝) もこぬま内科消化器科医院
☎ 0242-56-5622 (会津美里町)
- 5日(金・祝) 坂下厚生総合病院
☎ 0242-83-3511 (会津坂下町)
- 7日(日) 金山町国保診療所
☎ 0241-54-2031 (金山町)

次回広報発行までの間の休日当番医を掲載します。通院の参考にして下さい。

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和5年2月1日～2月28日受付

- お誕生おめでとうございます
今月の届け出はありません
- ご結婚おめでとうございます
今月の届け出はありません
- おくやみ申し上げます
羽染 タイコ さん 87歳 両原
酒井 フミ さん 93歳 小中津川
馬場 アキノ さん 90歳 小中津川
羽染 忠一 さん 86歳 両原
星 幸 さん 73歳 大芦
五十嵐 正明 さん 73歳 大芦

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和5年3月1日現在※住民基本台帳人口

人口	1,137人 (-4)	出生	0人
男	555人 (+1)	死亡	6人
女	582人 (-5)	転入	3人
世帯数	629戸 (-1)	転出	1人

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

＜健診意向調査について＞

4月中旬に、令和5年度の健診について、受診の意向を確認する「健康管理世帯台帳」が送付されます。

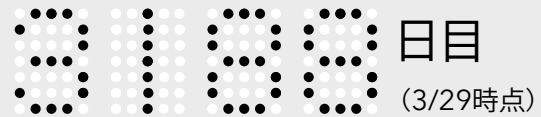
健診は、痛みや不調では現れないご自分の身体の状態を知る大切な機会になります。ぜひ健診を受診くださいますよう世帯台帳にご記入の上、ご提出くださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症関連情報

- ・ 現在、マスクの着用は必要な場面に合わせて個人の判断での着用となっていますが、基本的な感染予防対策（手洗いや消毒）は、今後ご自身やご家族を守るために生活の習慣として継続していきましょう。
- ・ 4月は進学や就職、勤務先の異動などで人の移動が多くなる時期です。感染への不安があり、症状がない方は、村で実施しているPCR検査をご活用ください。（症状がある方は、かかりつけ医にご相談ください）

交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。



◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

- ◎ 軽自動車税
- ◎ 固定資産税

〔納期限：令和5年5月1日〕



地域のしあわせづくり活動紹介「ミナクルで大笑い」

公民館で開催された「ミナクル健康塾」にお邪魔しました。ここではサビ取り体操や脳トレゲームなどがおこなわれたのですが、終始大盛り上がりで“後出しじゃんけん”や“風船バレーゲーム”では参加者の皆さんの大笑いする声に、見ている私達もつられて笑ってしまうほどでした。

「久しぶりにこんなに笑ったー。」と話す方が多く、コロナの影響で大笑いする機会が少なかった事がうかがえました。

次回はマスクを外して大笑いができるとうれいですね。
 (生活支援コーディネーター 和泉・小林)
 ※生活支援コーディネーターは、村内の様々な活動にお邪魔しながらお話を伺い、地域ニーズなどの掘り起こしをしています。令和5年度もよろしく願いいたします。



みんなで育てる、村LINE公式アカウント

お友達の数、300人を超えました！たくさんのご登録ありがとうございます！

昭和村

LINE 公式アカウント

LINEで「昭和村」を友だち追加



ID:@showavill

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください。

LINEで

昭和村からのお知らせ

を受け取ろう!!

はた音

例年より早い雪解けは、なんだか忙しさを感じます。

佐藤庄市さんの百歳賀寿では、お祝いの会の後、同じく昭和ホームに入所されている同級生と先輩との記念撮影をしたいとの庄市さんのご希望で撮影が行われました。みなさんのお年を合わせると、なんと、全部で302歳！

庄市さんは、百まで生きると言っていたとご家族から伺いました。庄市さんの同級生の私の祖父も同じことを言っていたなあと。これからもお元気でお過ごしくください。(こ)

昭和村民憲章

- 一、伝えましょう
はた音の響き
- 一、守りましょう
手技の智恵
- 一、創りましょう
おいしい水
豊かな大地
- 一、育てましょう
健やかな心と体
長寿の里
- 一、広げましょう
助け合う心
いたわりの気持ち
- 一、明るい笑顔
みんなの和

皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp